

◇第 1 回板橋区議会定例会終了!

3 月 22 日の最終本会議において、一般会計予算案 2,162 億 7 千万円前年比 3.3%増他 4 特別会計予算案の採決が行われ、自民・公明・民主クラブなど（私の所属会派）の賛成多数で可決成立しました。

特に特別会計予算に東武東上線連続立体化事業特別会計予算が初めて創設され、まずは 2 千万円が計上されました。これに合わせて東武東上線立体化事業基金積立金を財政調整基金から 45 億円繰り入れて、まずは大山地域の東上線の立体化及び駅前広場設置に備えることになりました。

この予算案に反対をすることは大山を皮切りにした板橋区の悲願である東上線連続立体化に水を差す行為であると言わざるを得ません。

私は東上線立体化は地下化で!という持論ではありますが、残念ながら東京都は高架化の方針を撤回しません。また、現在提示されている大山駅前広場については、対象地域の広さ・位置などに問題があるのではないかとまた立ち退きを迫られる住民の意見をよく聞くというところに至っていない現状では、もう少し時間をかけるべきと再三申し上げて参りました。

しかし、立体化・駅前広場設置に備えるための特別会計予算や基金に反対するのは筋違いと思っています。



予算委員会での質問

◇3 月 18 日予算審査特別委員会で総括質問に立ちました!



ハッピーロードのアーケード

1. 補助 26 号延伸でアーケードを 170m外すのは設置者責任という東京都の立場に変化はないか?

→東京都が補助を検討している

2. 東上線高架化により大山駅前のアーケードも外すことになる。これは事業主体の都の責任で解体・再度の設置をすることに間違いはないか?

→まだ都の見解は出ていない

3. 東上線は地下化でという地元要望が大きいということを都に対して説明、地下化要望しているか?

→報告はしているが都の高架化方針に従う

4. 3 条件というが結局、340 億円と 550 億円という費用だけの問題なのではないか。大山のみならず、成増までの立体化に係る条件・費用も勘案すべきではないか?

→都の高架化方針に従う

5. 大山駅前広場の設置に対して、立ち退き対象者と個別折衝に入るが反対が多い場合に都市計画審議会への申請を見送るべきではないか?

→設置の必要性を真摯に説明する



高架化地下化の比較



旧大山小跡地と板橋公園

旧大山小跡地については、大山小廃校で落胆し、跡地利用を区有地と民有地を一括利用しようとしたが、失敗でまた落胆。さらに、マンション建設後に跡地と交通公園の一体化計画が延期と 3 回も落胆した。

6. 平成 31 年度は暫定整備。32 年度は基本計画設定。33 年度に基本設計、実施設計で 34 年度以降に工事ということで間違いはないか?また、管理棟移設に際し、南部公園事務所や集会所などの合築になることで間違いはないか?

→間違いはない

7. 暫定利用はどんなイメージになるか?少年野球チームがキャッチボールや守備練習程度を計画的にやれるくらいは要望するがどうか?

→金網を周囲に配し、施錠のできる草地で区民に日中解放できるようにする。少年野球の利用、犬の連れ込み等はこれから検討する。

8. 一体化計画に際しては、地元町会のみならず、子どもや保護者ら利用者の意見を聞いて計画策定をしてもらいたいだろうか?

→その方向で考えている



旧大山小跡地暫定整備

◇おなだか 勝 の歩み

＜板二中のPTA 会長時代＞



当時の役員の方々と



創立 60 周年記念植樹

＜街頭演説・応援演説の日々＞



中板橋駅前街頭活動



台東区議選の応援

＜議会での質問も多数＞



本会議での一般質問



予算委員会での質問

＜小石川紫友同窓会副会長として＞



100 周年挨拶



集合挨拶

＜神輿が大好き＞



幸會陸



池袋ふくろまつり

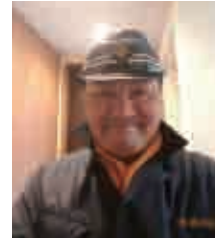
＜地域活動もしっかり＞



剣道



汗だくでの募金活動



防災訓練もしっかりと



もちつき

◇3月24日に区政報告会を開催しました



ご来場
ありがとう
ございました！

◇板橋区議会議員選挙、区長選挙 投票に行きましょう！ 4月14日（日）告示 4月21日（日）投開票

区政に対する、ご要望・ご提案・ご質問をお寄せください。真摯にお応えいたします！

板橋区議会議員

おなだか 勝 事務所

〒173-0034 板橋区幸町51-9

<http://onamasa.com/>

電話:03-3554-0965 FAX:03-5966-9595

メールアドレス: onamasa.10.10@jcom.home.ne.jp

略歴

・昭和35年生まれ 58歳 ・板橋二中、小石川高校を経て昭和59年東京学芸大学教育学部卒 ・平成7年初当選以来6期連続当選
・監査委員、文教児童委員長等歴任 ・国民民主党東京都連副会長 ・小石川紫友同窓会副会長